

海外安全対策情報(令和5年1月～令和5年3月)

在ラトビア日本国大使館

1. 社会・治安情勢

一般的にラトビアでは、対日感情は良好であり、日本の権益を対象とした事件の発生は確認されておらず、ヨーロッパでも比較的安全な国であるとされています。一方で、近年新型コロナウイルスが拡大している状況においてもフランスやドイツ、イギリス等近隣諸国ではテロとみられる事件が発生しており、また、ロシアのウクライナ侵攻やベラルーシ国境情勢が悪化していることから、テロ活動を目的とした人物がラトビアに入国する可能性は排除できないため、不測の事態に巻き込まれないよう注意が必要です。

2. 新型コロナウイルスに関連する治安状況

ラトビア国内においては、新型コロナウイルス感染拡大による治安情勢の大きな変化は見られておらず、アジア人に対する感情悪化もこれまでのところ特段見られません。

ラトビア国家警察は以下のような詐欺等の犯罪が発生しているとして注意喚起しています。いずれのケースにおいても、身に覚えのない発信元からの連絡には注意し、情報収集にあたっては信頼できる情報源から情報を得るようにしてください。

(1) DPD、omniva、Latvijas Pastis 等の配達業者の偽のホームページや SNS を介し、個人情報やカード情報を詐取する。

ホームページリンクやメールの発信元が正しいか確認してください。

(2) 警察、消防や銀行を装い電話等で個人情報やカード情報を搾取する。

銀行口座の詳細(クレジットカード番号、PIN コード、Smart-ID ログインコード、CVC コードなど)やその他の機密情報は、他人に教えないでください。警察などの国家機関や銀行の職員がそのような情報を要求することはありません。

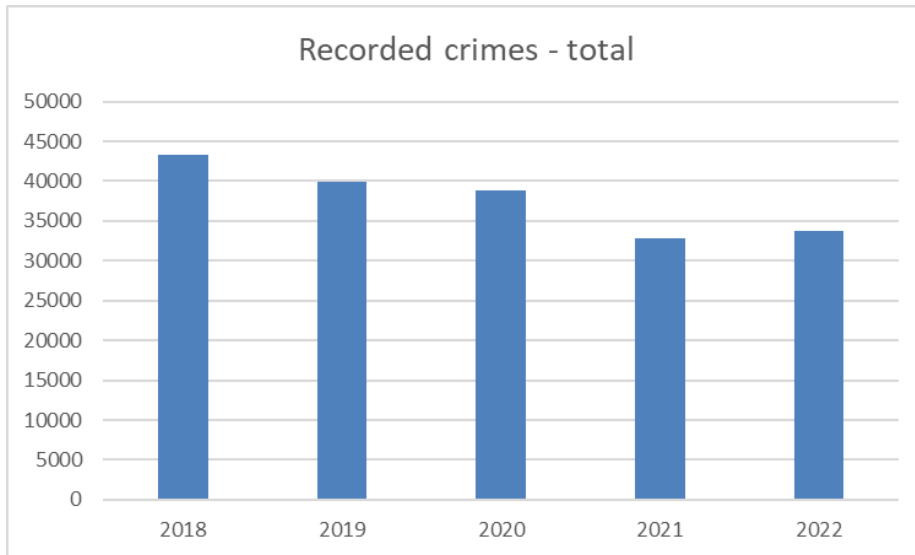
(3) テレワークの増加に伴うサイバー攻撃。

不審な電子メールのリンクや添付ファイルを開かないでください。

3. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

ラトビアの犯罪認知件数は減少傾向でしたが、ラトビア統計局の発表によると、2022年の犯罪認知件数は33,707件で、前年と比較し増加しています。2022年には邦人が被害にあった事案はないものの、引き続き注意が必要です。

	2020年	2021年	2022年
犯罪認知件数	38,767件	32,820件	33,707件
殺人	78件	60件	72件
薬物関連犯罪	2,655件	1,710件	1,462件
強姦	107件	88件	122件



※出所中央統計局

4. テロ・爆弾事件発生状況(2023年1～3月)

テロ・爆弾事件関連の認知件数は22件(虚偽の通報含む)。

5. 誘拐・脅迫事件発生状況(2023年1～3月)

誘拐は7件、脅迫は36件発生しています。

6. 日本企業の安全に関する諸問題

特段の問題は報告されていません。

7. 邦人が巻き込まれた事件、具体的措置及び注意事項

(1)1月から3月の間に日本人が巻き込まれた事件は報告されておりませんが、昨年7月から9月の間に、リガ市内での邦人短期渡航者の現金と携帯電話の盗難被害が1件報告されました。また、日本人被害者は確認されませんでした。2021年4月にリガ中央駅付近に所在するホテルで火災が発生し、死傷者が複数発生しました。報道によれば、同ホテルは安全対策の検査を受けていなかったと言われていいます。宿泊施設を検討する際には、評判等を含め、よく情報収集をしてから選ぶようにしてください。

(2) 4月から6月の間に、注意すべき一般犯罪等は以下のとおりです。

・当地では、例年観光シーズンになると、観光客をターゲットにした犯罪の発生件数が多くなります。コロナウイルスの措置が緩和され、人出が多くなることが予想されますので特にご注意ください。

・ロシアによるウクライナ侵攻後、ラトビアでもデモ等が増えています。小さなきっかけで不測の事態に発展する可能性もありますので、デモや集会には近寄らないようにしてください。

・リガ中央駅周辺、バスターミナル、旧市街、中央市場や中央駅・バスターミナルから旧市街に抜ける地下道では、複数人のスリグループによる、観光客を狙ったスリや置き引きが発生しています。カメラやスマートフォンなど高額な物を周りから見えるように持ち歩かないなど、身の回りの所持品には常に注意を払ってください。

・いわゆる「ぼったくりタクシー」が高額なタクシー代を請求する場合があります。可能な限り、流しのタクシーではなく、空港到着ロビーの窓口や電話で予約可能な信頼できるタクシー会社を利用してください(<https://airport-transport.lv/en/>)。

(タクシー代の目安の例: 空港-リガ市内中心部間約15ユーロ、空港-ユールマラ市内中心部間約20ユーロ)

また、配車アプリ「Bolt」も便利です(<https://bolt.eu/>)。

・いわゆる「ぼったくりバー」が高額な飲食代を請求する場合があります。市内で突然女性に声をかけられるなどして連れて行かれたバーやストリップバーで被害に遭うケースが報告されています。なお、市内の一般的なレストランでぼったくり被害にあったという事例は報告されていません。

(3) 近年日本人が被害に遭った犯罪事例は以下のとおりです。

・短期旅行中の邦人がリガ旧市街地で写真撮影をしていたところ、ショルダーバッグに入れていた現金、クレジットカード及びパスポートを盗まれました。

・短期旅行中の邦人が中央市場を観光していたところ、ショルダータイプのバッグに入れていたパスポートを盗まれました。

・当地在住の邦人が、リガ旧市街にあるバー内で飲食をしていたところ、鞆の中にあつた現金、カード及び日本の運転免許証等が入った財布を盗まれました。

・短期旅行中の邦人がリガ中央駅ショッピングモール内のエレベータで移動中、ショルダータイプのバッグに入れていたパスポートを盗まれました。

・自由記念碑付近のマクドナルドで、ホームレスのような人にかからまれ暴力をふるわれそうになりました。

(4) 当館では、在留届の提出等で来館した邦人等に対し、当地での安全対策についての情報を提供しています。

(了)